

# 種子島・屋久島周辺海域の地理的情報

## 種子島海域の特徴

大隅群島中、最東方にある南北に細長い平らな島で、目標になるものは少ない。最高峰は中央部にある高峯尾山で、山頂付近に白塗ドームがある。

西岸には西之表港及び島間港があり、西之表港の港口は北方に開いており、年間の最多風速は北西風で、西寄りの風がこれに次いでいる。島間港は港口が北東方へ開いており、冬季、季節風が強吹するときは岸壁に係留していると危険なことがある。

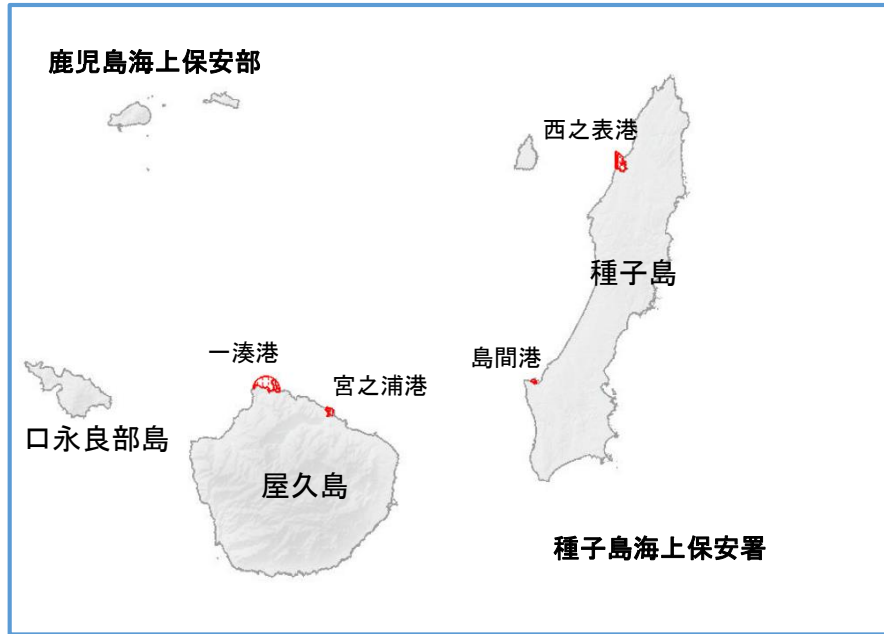
## 屋久島海域の特徴

ほぼ円形の島で、樹木が多く、島内はほとんど山岳から成り平地が少ない。

島の中央にそびえる宮之浦岳はこの島の最高峰で、2頂があり、ともになだらかではげている。

北端の矢筈崎のある小半島の西岸海域は陰しいがけで岩礁が多数あるので、距岸200m以内に接近してはならない。

西端の永田岬の外端付近は急深で危険はないが、夏季、南風の強いときは、同岬の西方約1海里の所でときどき、激浪を起こすことがある。



※海上保安庁発行「九州沿岸水路誌」より

台風等の接近時、港則法に基づき、**避難勧告等が発令される場合があります。**  
詳しくは問い合わせ先へ

	勧告の発令基準	船舶の対応 (一般船舶の場合)
警戒体制	台風が接近し、台風の <b>強風域内</b> に入るおそれがある場合	○関係情報の収集 ○荷役・作業中止の検討を行い、状況に応じて荷役・作業中止 ○港外退避の検討又は係留強化
	各港を含む地域に、 <b>強風注意報</b> が発表された場合	
	種子島・屋久島地方に <b>津波注意報</b> が発表された場合	
避難体制	台風が接近し、台風の <b>暴風域内</b> に入るおそれがある場合	○荷役・作業の中止 ○港外退避又は係留強化
	各港を含む地域に、 <b>暴風警報</b> が発表された場合	
	種子島・屋久島地方に <b>津波警報</b> 又は <b>大津波警報</b> が発表された場合	○荷役・作業の中止、港外退避又は係留強化に加え、人員については、陸上又は船内避難
お問い合わせ先	南九州における走錨事故防止対策等	第十管区海上保安本部 交通部 航行安全課 TEL 099-250-9800
	西之表港・島間港・一湊港・宮之浦港	種子島海上保安署 TEL 0997-22-0118